

エコアクション21 環境経営レポート 2023

取組対象期間 2023年8月 ～2024年7月



第20回大阪都市景観建築賞府知事賞受賞

埜村自動車商事株式会社

発行年月日： 2024年 10月31日

埜村自動車商事株式会社

環境経営方針

【経営理念】

当社は、地球温暖化の防止や循環型社会の形成及び未来の子供たちのために、環境経営システムを構築・運用し、事業活動に伴う環境負荷の低減を目指して全社員一丸となって環境保全活動を継続的に取り組みます。

【行動指針】

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 地球温暖化防止のために、二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
3. 資源の有効利用のために、廃棄物の削減に取り組みます。
4. 水資源の有効利用のために、節水に取り組みます。
5. 環境保全のために、顧客に対して環境に配慮した製品及びサービスの提供に取り組みます。

この環境経営方針を社員全員に周知すると共に、社外にも公表して環境コミュニケーションを積極的に推進します。

制定日： 2011 年 10 月 1日
改訂日： 2022 年 5 月 20日

代表者 **埜村 岳史**

組織の概要

(1) 名称及び代表者名

埜村自動車商事株式会社

代表取締役 埜村 岳史

(2) 所在地

本 社：大阪府大阪市東住吉区杭全7丁目1番20号

東大阪工場：大阪府東大阪市大蓮南5丁目7番5号

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者：中井 嘉彦 TEL：06-6720-0008

(4) 事業内容

・中古自動車及び中古自動車部品の販売・使用済自動車の解体及び破砕

(5) 事業の規模売上額 150 百万円 (2022年8月1日～2023年7月31日)

処理実績

受入台数 695台

	本社	東大阪工場	全社
従業員	2名	13名	15名
延べ床面積	297㎡	5775㎡	6072㎡

(6) 事業年度

8月～翌年7月

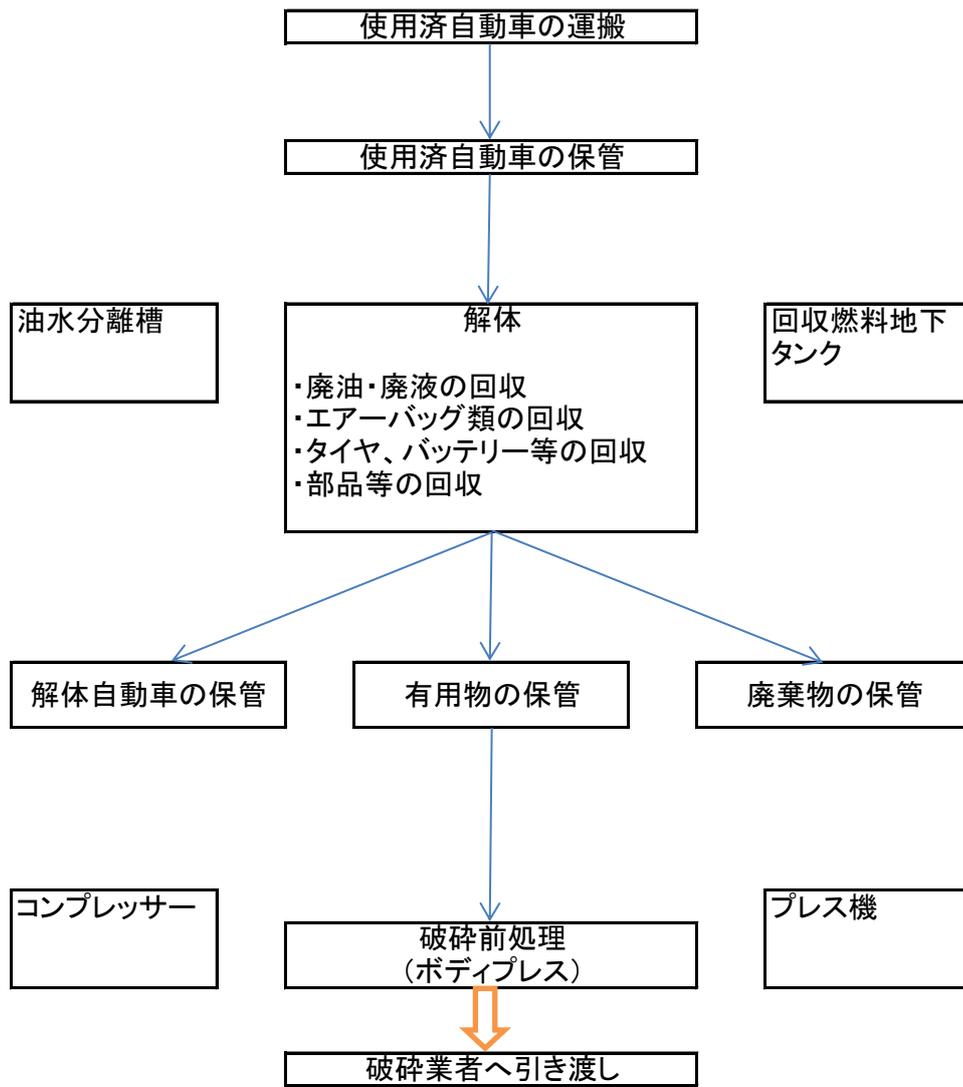
認証・登録の対象範囲

対象組織名： 埜村自動車商事株式会社

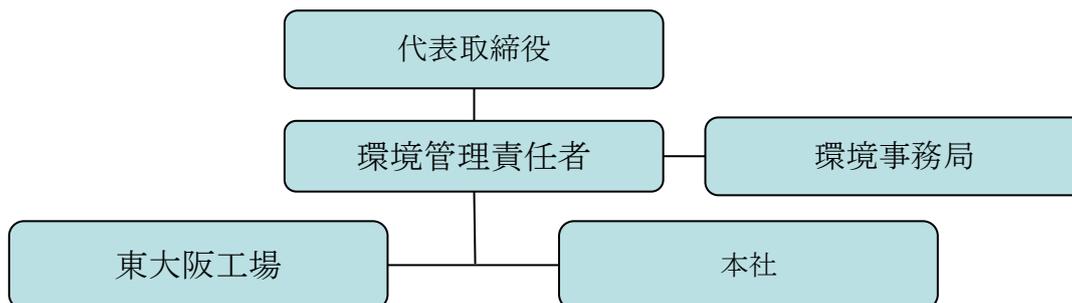
対象事業所： 本社、東大阪工場

活動内容：中古自動車及び中古自動車部品の販売・使用済自動車の解体及び破砕

(7) 処理工程図
解体業・破砕業



荃村自動車商事株式会社 環境経営システム組織図



環境経営システム 役割・責任・権限表

役割・責任・権限	
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・経営資源の投入 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認 ・実施体制の構築
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

作成日 2020年1月6日
作成者 中井 嘉彦

主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量 (対象：エネルギー総量)	kg-CO ₂	33,508	32,963	32,640
廃棄物排出量 (一般廃棄物排出量)	kg	270	254	245
総排水量	m ³	540	563.0	566.5

二酸化炭素排出量には灯油及び都市ガスによる排出量を含む

環境経営目標及びその実績（全社）

	単位	2016年度	2021年度	2022年度	2023年度
		基準値	削減率 (目標) (実績)	削減率 (目標) (実績)	削減率 (目標) (実績)
CO ₂ 排出量の削減	電力の削減 kg-CO ₂	22,749	-4.0%	-5.0%	-6.0%
			21,839	21,612	21,384
CO ₂ 排出量の削減	軽油の削減 kg-CO ₂	25,287	-4.0%	-5.0%	-6.0%
			24,276	24,023	23,770
CO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂	48,036	46,115	45,635	45,154
			33,508	31,376	31,080
一般廃棄物の削減	kg	289	-4.0%	-5.0%	-6.0%
			277	275	272
一般廃棄物の削減	kg	0	270	254	245
			0	0	0
水道水の削減	m ³	953	-31.0%	-32.0%	-33.0%
			658	648	639
水道水の削減	m ³	953	540.0	563	566.5
環境配慮製品の販売促進	品目	620	+15%	+20%	+25%
			713	744	775
環境配慮製品の販売促進	品目	620	818	817	776
清掃活動回数の維持	回	15	15	15	15
			15	15	15

環境配慮製品の販売促進の達成率は2011年度目標を基準とした値である。

今期は汚泥等の産業廃棄物の排出実績はなかった。

電力のCO₂排出係数 = 2016年度 関西電力排出係数 0.493kg-CO₂/kWh 適用
2016年度(基準値)は南港営業所を除いた値を示している。

主要な環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

		目標	実績	達成率	主な活動内容	活動状況	次年度取組み
CO ₂ 排出量の削減	電力の削減	43375kWh	36973kWh	117%	1.工場内のエアリー漏れゼロの徹底 2.工場コンプレッサー圧力の見直し	○	今年も使用済車の減少で工場の稼働率低下の影響が大きい結果で、コンプレッサーの圧力調整は効果あると思うので次年度も継続する 前年度と同様使用済車発生が少なく稼働率の低い状態での取組での結果になった。基本的な取組なので次年度も継続する
	全社					△	
	本社	9542kWh	9132kWh	104%	1.エコドライブの徹底 2.効率の良いルートと配車の見直し	○	
工場	33833kWh	27841kWh	121%	○			
CO ₂ の削減		45154kg	31080kg	145%			
一般廃棄物削減		273kg	245kg	111%	1.使用済梱包資材エアーパーキング、ビニール包装等の再利用	△	資材の再利用は行っているが、余っている資材が多いので今後も継続していく
水道水の削減		639m ³	566.5m ³	112%	1.トイレ水洗の調節 2.高圧洗浄機の積極的な使用	△ △	前年度より僅かであるが増加している。達成はしているがトイレ水洗の調節、高圧洗浄機の効果がはっきりしないので引き続き取組む
環境配慮製品の販売促進		775品目	776品目	100%	1.在庫調整と出品登録の調整 2.出品登録数の増加	△ △	達成はしたが前年度より低い結果となった要因として商品単価の高い商品に出品を絞り在庫調整を行っている。期間を要するので今後も継続したい。
処理における環境配慮		—	—	—	1. 事業場周辺に騒音苦情、油流出などさせない管理をする 2. 破碎前処理したボディプレスは適正な許可業者と取引している。		・事業場周辺からの苦情はなく、適正管理はできている。 適正な管理、実施している。
近隣清掃活動		15回	15回	100%	清掃活動回数の維持 清掃区域の拡大	○	今年度も回数達成出来た。今後清掃区域の拡大はせず、引き続き取り組んで行く。

活動状況の取組評価 ○ 出来た △ あまり出来なかった × まったく出来なかった

注) 達成率=(目標/実績)×100とした

但し、環境配慮製品の販売促進、近隣清掃活動については達成率=(実績/目標)×100とした

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用となる主な環境関連法規等

法律名	遵守すべき事項	適用事業所	遵守状況
1 自動車リサイクル法	使用済自動車の適正な処理 (フロン・エアバッグ・シュレッダーダスト等)	工場	遵守
2 フロン排出抑制法	業務用空調機器の簡易点検・記録の保管 (4基)	工場	遵守
3 消防法	第9条・少量危険物の貯蔵・取扱所 第11条設置許可、第13条取扱等	工場	遵守
4 騒音規制法 振動規制法	空気圧縮機・プレス機	工場	遵守
5 自動車NOx・PM法	窒素酸化物対策地域・粒子状物質対策 大阪府流入規制	工場	遵守
6 廃棄物処理法	汚泥(油水分離槽)	工場	遵守
7 下水道法	第10条・下水道への放流 第12条・除外施設の設置	工場	遵守
8 水質汚濁防止法	第14条の2・事故時の措置(貯油施設等: 油水分離槽)	工場	遵守

違反・訴訟等の有無

- ・環境関連法規への違反はありません。
- ・関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間なく、訴訟もありません。

代表者による全体の評価と見直し・指示

2024年10月25日 埜村 岳史

今年度も使用済自動車の発生が減少している状況での取組でありましたが、目標としては達成しました。環境配慮製品に関する販売件数は減少しましたが、売上としては横ばいであった。前年度よりもエネルギーや物価の高騰が続いているので大変厳しい状況である。次年度は環境配慮製品の目標を少し下げても良いのではと思います。しかし経営理念や行動方針を全社員がしっかりと認識して今後の活動に取り組んで頂きたい。

項目	見直しの有無	変更理由
環境経営方針	変更無	
環境経営目標・計画	変更無	
実施体制	変更無	